VOL.40
2017年1月

一般社団法人
日本トンネル専門工事業協会
NTS会報

発行
一般社団法人
日本トンネル専門工事業協会
組織広報委員会
URL:http://www.tonnel.jp/
E-mail:kyotsu@tonnel.jp

秋季セミナー・現場見学会特集

秋季セミナー

平成28年9月16日にメルパルク東京にて秋季セミナーが開催され、野﨑正和会長より挨拶がありました。

今年は、九州の熊本地震、東北、北海道では今までかつてない台風が多く来まして、多大な自然災害により、会員の皆様方も復旧、復興作業に頑張っておられると思います。私も先週、岩手の方へ行ってきましたが道路の陥没、山の方は道路の遮断で通れなくなっている所もありました。被災された方々にもお見舞い申し上げたいと思います。

特に日本は、これからインフラ整備を行っていかなければならない中、人手不足で会員の皆様も大変苦労していると思います。十数年かけて調査研究し、厚生労働省、国土交通省と意見交換をし、今回切羽の肌落防止対策のガイドラインが10月をめどに発出されるようになっております。また、先週シールド工事の安全対策に関し厚生労働省の方と意見交換会を行い、ゼネコン目線ではなく我々目線で坑内での温度が高く、非常に仕事がやりづらいと申し上げました。これからも行政との意見交換をしながら問題点を取り上げてもらいたいと思っております。

トンネルは非常に環境の悪いイメージがあります。建設業界と関係のない若い人と話す機会があり、トンネルは非常に危ない仕事なのだろうと言われまして少々ガックリしました。テレビ等メディアで落盤の報道を見てそういうイメージを持つのではないかと思います。メディアで貫通時の良い報道をしてもらえたら若者もトンネルに対するイメージが変わってくるのではないか、また、スマホとかDVDでの動画を取り入れて若者にトンネルのPRを行っていけたらと思っております。

行政講演

※お役職は平成28年9月16日現在です

『建設業の担い手確保・育成について』

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長　木村　実　様

建設業への新規学卒者の入職は相変わらず厳しく、定着率も悪いのが現状です。対策としましては、建設業は「人材投資成長産業」となることが必要で、人材への投資を柱に、変化に対応し、選ばれる建設業にならなければならないと思います。その対策の1つとして社会保険未加入対策を進めてきましたが、達成目標へは今一歩であり、引き続き未加入対策を行って参ります。キャリアアップシステムにつきましては、担い手の確保・育成のためには、総合的な支援が必要であり、技能労働者の処遇改善が必要となります。そのためには、技能に見合った処遇が受けられる就労環境づくりが必要で、技能労働者の資格、工事経歴等を蓄積し、技能評価等に活用できる「見える化」するシステム構築が必要となってきます。また、将来にわたり建設産業の担い手を確保していく上では、建設技能労働者のキャリアアップの道筋を示すことが重要であり、技能者が適正に評価され、処遇を受けられるようにすることが肝要です。また、技能者の資格等の情報や工事経歴等を業界統一ルールで蓄積するシステムが重要です。国土交通省では、このキャリアアップシステム構築に向け、官民コンソーシアムを平成27年5月に立ち上げてシステム構築にあたっておりまして、平成29年秋の運用開始を目指しています。

『第９次建設雇用改善計画について』

厚生労働省 職業安定局 雇用開発部 建設・港湾対策室 室長補佐　佐藤康大 様

第9次建設雇用改善計画は、「若者が展望をもって安心して活き活きと働ける魅力ある環境づくりの推進」を目指しており、第9次建設雇用改善計画が作成されました。この計画の最重要施策は、
① 若年者等の建設業への入職・定着促進による技能労働者の確保・育成、 ② 魅力ある労働環境づくりに向けた基盤整備、 ③ 職業能力開発の促進、技能継承　です。
それらに対する基本的施策は、① 建設業の魅力の発信、ハローワークによるマッチング支援、女性労働者の活躍支援、 ② 雇用関係の明確化、長時間労働の改善、完全週休2日制の普及、社会保険・労働保険の更なる適用推進、労働災害防止対策の推進、 ③ 事業主の行う職業能力開発の促進のための助成、労働者の自発的な職業能力開発の促進、熟練技能の維持・継承及び活用　を行うことです。

そのために建設労働者確保育成助成金、ものづくりマイスター制度による若年技能者への実技指導、建設労働者緊急育成支援事業等への予算措置を行っています。また、青少年の雇用促進や女性の活躍推進のための法律改正等も行っています。

肌落ち災害防止対策に係るガイドライン

厚生労働省は、平成28年12月26日労働基準局長発出のガイドラインに、山岳トンネル切羽における「肌落ち」による労働災害防止を目的に、事業者や労働者の責務と、事業者に肌落ち労働災害防止対策としての推奨事項を示しました。推奨事項には、切羽への原則立ち入り禁止、肌落ち防止計画の策定と実施、鏡吹き付けコンクリート、鏡ボルトの打設等や切羽監視員の選任・配置等具体的な肌落ち労働災害防止対策が示されています。ガイドラインでは労働安全衛生法、同規則を遵守し、ガイドラインに基づく対策を実施することで、労災防止に努めることを事業者の責務としています。また、労働者には、事業者がガイドラインに基づいて行う対策に協力し、自ら労災防止に努めることを求めています。当協会では、ガイドラインが発出されたことにより、国土交通省にこれら対策の標準積算化をお願いする予定です。

切羽付近に関する技術的事項検討会

厚生労働省は、山岳トンネル切羽付近における作業環境改善に向けた有識者による検討会を立ち上げ、切羽作業環境改善に役立つ技術的事項検討を平成28年11月30日より開始しました。検討会では、切羽付近の粉じん濃度測定方法と測定結果の評価方法を検討し、その後、5現場程度切羽粉じん濃度測定を行い、その結果を踏まえ切羽作業環境改善方法や管理方法、呼吸用保護マスク(フィルター含む)の適切な管理、作業員教育等粉じん障害防止対策を検討します。現在のトンネル坑内の粉じん濃度測定は「ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン」により、切羽から50m地点の断面3箇所において測定されていますが、今回の検討会では、切羽付近における粉じん濃度測定を安全に、簡易で施工者の負担が少ない方法での測定方法と評価方法を確立しようとするものです。その結果を踏まえて、切羽の環境改善を図り、粉じん障害防止対策を検討し、平成30年3月に報告書にまとめることとしています。

検討委員会のメンバーは、学識経験者、日建連、日本トンネル技術協会、日本トンネル専門工事業協会、建災防、弁護士等17名で構成されている。なお、当協会は野﨑正和会長が委員として参加しています。

登録基幹技能者特別講習について

国土交通省は平成29年秋の運用開始を目指し、「キャリアアップシステム」の構築を現在進めているが、この運用開始に先行して、登録基幹技能者特別講習を開催し、受講修了者をこのシステムの運用開始に先行して登録するものです。運営主体は(一財)建設業振興基金が担当し、講習会は1月23日福岡会場より全国10箇所で3月24日迄開催されます。 この他にパソコン、スマートフォンを用いて申込み不要なEーラーニング(平成29年2月～3月迄)で勤務先、自宅でも受講できます。アクセス先 URL：http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ginou/

特別講習受講の詳細につきましては、1月10日付けFAXでご連絡済の「登録基幹技能者特別講習受講について」をご覧ください。なお、受講修了者は無料でキャリアアップシステムに先行登録が可能となりますので受講し、システムへの登録をお願いします。

幹 部 社 員 研 修 会

平成28年9月13日～14日に、東京都の浜離宮建設プラザで幹部社員研修会が開催されました(参加者16名)。1日目は(一財)建設産業経理研究機構研究主任 伊藤慎治氏による『建設業会計の基礎知識』、中小企業診断士 藤原一夫氏による『原価利益管理の能力向上と人材確保』、2日目は中小企業診断士 手島伸夫氏による『人間関係論とチームマネジメント他』『建設業の効率を上げるコーチング他』をテーマとし、講義・演習・ディスカッションを主体とした全員参加型で行われました。

(グループ別研修状況)

現 場 見 学 ・ 研 修 会

技術及び現場管理の相互レベルアップを目的とする現場見学・研修会が内田理事長様他5名の建設業振興基金の参加を得て、平成28年10月14日～15日に福井県敦賀市の北陸新幹線北陸トンネル(葉原)工事において開催されました。現場はよく整備・管理されており、大変参考になりました。また、意見交換会では、北新建設㈱表野所長より、主に本坑アクセス斜坑の施工実績及びズリ運搬に使用しているベルトコンベアの延伸方法等について詳細な説明が有り、有意義な意見交換が行われました。

工事概要

発注者:鉄道・運輸機構 鉄道建設本部 大阪支社

元 請 :鹿島・りんかい日産・石黒・高崎ＪＶ　　施工 ： 北新建設㈱

トンネル延長:本坑;4,495m(進行1,444m)、斜坑;557m(完成)平均勾配－12.5%

掘削方式：発破掘削　ズリ出し：ベルトコンベア方式　覆工：FILM工法採用

コンクリート吹付：クリアショット型２ノズルエレクタ付吹付機

合同安全パトロール

≪平成28年度第一回≫

平成28年9月9日に兵庫県の中国横断自動車道国見山トンネル工事にて、労務安全衛生委員会の委員と㈱興和建設との合同による安全パトロールが行われました。現場内は整理整頓が良くされており、切羽作業での肌落ち対策や重機関連災害防止対策においても接触防止センサーやキャタピラー上のカラーコーン設置等様々な対策がとられており、他の模範となる現場でした。

工事概要
発注者:西日本高速道路株式会社
元　請:大成建設株式会社
施　工:吉岡建設株式会社
工　期:H.26.3～H.30.4
延　長:3,150m(トンネル2,709m)

(切羽重機作業時
立入禁止看板)

(接触防止センサー設置重機)

≪平成28年度第二回≫

工事概要
発注者:長崎県
元　請:清水・星野・荒木ＪＶ
施　工:石田土木株式会社

(坑口部
及びセントル安全標識)

(ブームヘッダ電気ケーブル
懸架巻取り装置)

平成28年11月18日に長崎県の一般県道諫早外環状線道路改良工事(仮称4号トンネル)にて、労務安全衛生委員会の委員と近郊会員企業の拓進建設㈱黒山課長、藤友工業㈱矢野所長との合同による安全パトロールが行われました。先般上半切羽に発生した湧水に対し、適切な処理等が行われており、良く管理されていました。また、インバート施工箇所は、点滅チューブで明示され、重ダンプの最徐行の注意喚起に努めてるなど、全般的に坑内、抗外共良く整理整頓されている現場で、元請とのコミュニケーションも充分に図られており、大変良い現場環境作りがなされている現場でした。

日建連粉じん障害防止対策推進強化月間現場パトロール参加

平成28年10月27日～28日に日建連主催の粉じんパトロールが金沢東部環状御所トンネル工事(発注者 北陸地整、元請 西松建設)及び石川県輪島市 椎木北浦工区トンネル(発注者 石川県、元請 安藤ハザマJV 、施工 木部建設)で実施され参加しました。今年からは、粉じんに関するパトロールだけではなく、安全一般についてもパトロールを実施しました。パトロール結果は、粉じん対策・管理、安全一般についても両現場ともに良好に管理されていました。

(坑内粉じんパトロール状況)

国土交通大臣、厚生労働大臣、土地・建設産業局長顕彰受賞

当協会が候補者を推薦致しました候補者の平成28年度建設マスター・ジュニアマスター及び安全優良職長の国土交通大臣、土地・建設産業局長及び厚生労働大臣顕彰受賞が決定し、顕彰式典が開催されました。各受賞者、式典は下記の通りです。皆様おめでとうございます。

1. 建設マスター(優秀施工者415名受賞)・ ジュニアマスター(青年優秀施工者106名受賞)
   1)受賞者 ① 建設マスター:佐伯圭一氏(川元建設㈱)、 中村公仁氏(山﨑建設㈱)
   ② 建設ジュニアマスター:谷内誠一氏(北新建設㈱)
   2)式　典　 開催日時:平成27年10月7日(金)　 会場:メルパルクホール(東京都港区芝公園)

2. 安全優良職長(受賞者143名内、うち建設業78名)
   1)受賞者 ① 椙松和昭(村田建設㈱)
   2)式　典　 開催日時:平成29年1月10日(火)　会場:厚生労働省講堂(東京都千代田区霞が関)

建設マスター・ジュニアマスター
顕彰式典

向かって左から
佐伯氏、中村氏、谷内氏

安全優良職長顕彰式典

椙松氏

登録トンネル基幹技能者講習

平成28年11月10日～13日に西日本会場（兵庫県三田市）にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。20名の受講者全員の修了が承認されました。

修了証番号	所属組織名	氏名
第061611-00524号	川元建設㈱	門野　真
第061611-00525号	木部建設㈱	甲斐　文次郎
第061611-00526号	㈱興和建設	鐘ヶ江　修
第061611-00527号	笹島建設㈱	今川　整
第061611-00528号	庄司建設工業㈲	冨髙　剛
第061611-00529号	成豊建設㈱	赤石　博美
第061611-00530号	成豊建設㈱	竹田　弘信
第061611-00531号	㈱轟組	中村　隆志
第061611-00532号	㈱轟組	浜口　智和
第061611-00533号	㈱轟組	山﨑　雅司

修了証番号	所属組織名	氏名
第061611-00534号	㈱轟組	依光　隆司
第061611-00535号	藤田興業㈱	佐々木　隆之
第061611-00536号	藤田興業㈱	花山　健
第061611-00537号	三谷建設㈱	平川　裕之
第061611-00538号	山口建設㈱	宮内　利武
第061611-00539号	山口建設㈱	佐藤　浩
第061611-00540号	横山工業㈱	寺原　幸治
第061611-00541号	横山工業㈱	吉川　敏司
第061611-00542号	吉田西豊建設㈱	緒方　茂行
第061611-00543号	ワシオ工業㈱	高橋　昌平

また、9月10日に開催された大阪会場での更新講習で12名の方、12月3日に開催された福岡会場での更新講習で12名の方が修了証の更新をされ、累計更新講習修了者は300名になりました。

会 員 会 社 P R

協 会 か ら の お 知 ら せ

【今後の予定】

・平成29年度第10回社員総会	平成29年5月18日
・平成29年度第1回登録トンネル基幹技能者講習（富士教育訓練センター）	平成29年7月6日～9日
・平成29年度秋季セミナー ・懇親会	平成29年9月15日
・平成29年度第2回登録トンネル基幹技能者講習（三田建設技能研修センター）	平成29年11月9日～12日

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。

一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階
TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL：http://www.tonnel.jp